

メイド・イン・アースの  
和綿の種ひろがるプロジェクト  
HOME GROWN 2025 ~今年で16年目~

コットンを育てて、ものづくりの背景を知ること、  
もの、人、地球への感謝を持つ心を育ててゆくプロジェクト。  
いつまでも心地よく棲み続けられるサステナブルな地球のために。

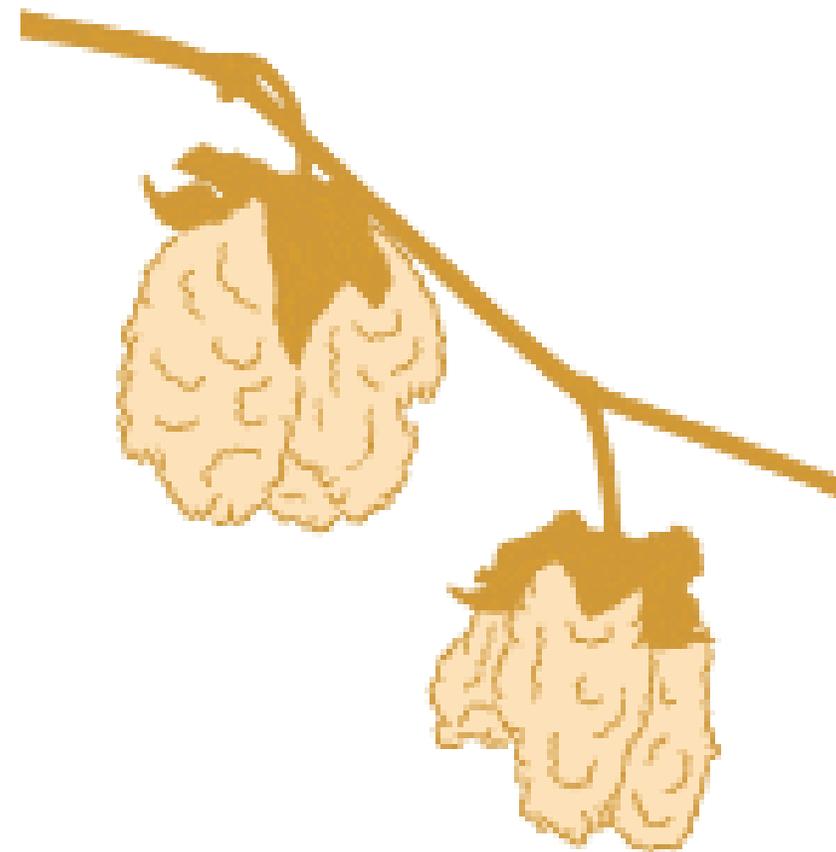
日本の在来種コットンを  
育て・守り・つくるを楽しむ。

和綿の種  
HOME GROWN  
ひろがるプロジェクト

# ふわふわな「コットン」を育ててみませんか？

---

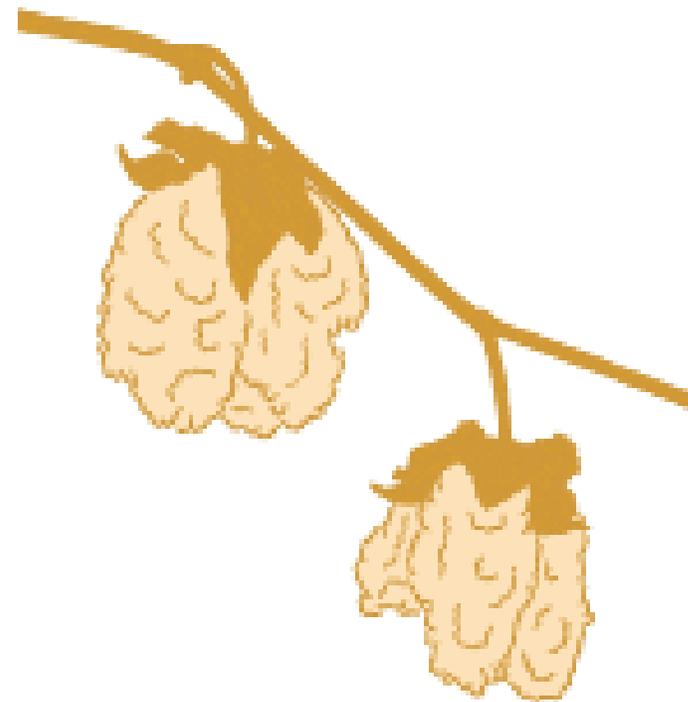
- コットン是世界中で使われている天然素材です。
- 子供から大人まで多くの方に馴染みのある天然繊維ですが、そのコットンが畑でできているということをご存知ですか？
- 今では国内生産（栽培）が0%となってしまったコットンをみんなで育ててみませんか。
- ふわふわなワタを収穫して、糸を紡いだり、布（コースター）を織る体験を通して、SDGsやエシカル消費の学びにもつなげることができます。
- そして、失われつつある国産在来種の「和綿」の種を、次世代に繋いでいきましょう！



# 和綿の種を差し上げております

---

- 学校や教育関係での和綿栽培をご希望される方には、和綿(国産在来種のコットン)の種を差し上げています。
- 学校全体、学年単位、クラス単位など、栽培する児童・生徒さんの人数や、花壇・プランターなどの規模に応じて種を差し上げます。
- 私どもの「和綿の種ひろがるプロジェクト」にエントリーいただき、学校名やご住所などをご記入いただければ、種と栽培方法などを送らせていただきます。
- ご希望に応じて、お話やワークショップなどの出前授業も行っておりますので、お気軽にご相談ください。
- まずは、コットンを栽培してみたい、という方は、ぜひ一度、ご連絡をいただけたらと思います。





# 和綿プロジェクトの出前授業風景

HOME GROWN

from  
MADE IN EARTH.



# 和綿の種ひろがるプロジェクト HOME GROWNとは

コットンを育てて、ものづくりの背景を知ること、  
もの、人、地球への感謝を持つ心を育ててゆくプロジェクト。  
いつまでも心地よく棲み続けられるサステナブルな地球のために。

かつては稲作を凌ぐほど盛んだった国産在来種のコットン(和綿)も、今では国内自給率0%とされています。この和綿を、みんなで栽培して、種を次世代へ繋げていこう、自分たちが育てたコットンでTシャツやハンカチなどのコットン製を作って自分たちで着よう、使おうというのが「和綿の種ひろがるプロジェクト(以下、和綿プロジェクト)」です。

コットンを栽培し、身近な衣服や繊維製品の原点にふれることで、サステナブルな社会、エシカル消費を体感しながら、繊維の自給、地産地消、有機農業のことをあらためて考える機会にもなっています。

2021年からプロジェクト名を新しい形にし、これまで400を超える個人・団体の参加登録をいただき、参加総人数としては毎年3000名を超える方々が、このプロジェクトで和綿の栽培に携わっています。

# 学校や団体、地域グループに向け、 SDGs、エシカル消費を学び、 体感する出前授業、出張講座

この和綿プロジェクトには、一般の方をはじめ、学校や教育関係、地域グループなどでの団体でエントリーされている方も多く、規模や年齢層に応じて、栽培の出張アドバイスや、出前授業・講座・お話会のほか、糸紡ぎや手織りのワークショップなども展開しています。

特に学校関係では、小学校から大学生まで幅広い年齢層に向け、それぞれに合わせた「出前授業」を行っています。例えば、小学校の中学年以下では、自分たちが普段着ている衣服は何からできて のかな？といった質問から、当たり前のようにお店で買えるものについて探究していこうというところからスタートしたり、中高生や大学生などでは、SDGsやエシカル消費などをテーマとした授業の一環として、お話やワークショップを行っています。

学年や年代に応じて、総合学習、環境学習、国際社会、理科、生物、社会、家庭科など、さまざまな科目で組み込んでいただくケースが増えてきました。

# エントリー 方法

## ■エントリー方法

◎詳細が書かれた下記のURL内に記載の申込フォームからお申込みいただけます。※エントリーは無料です。和綿栽培にご興味のある方はお気軽にエントリーお願いします。

[詳細・申込]

<https://www.made-in-earth.co.jp/special/29178/>

◎下記フェイスブックグループにて情報を発信・共有しておりますので、ぜひ、ご登録をお願いいたします。

[FBグループ]

<https://www.facebook.com/groups/wamenproject/>

◎和綿の種の購入

[種のページ]

<https://madeinearth-store.jp/c/gr519/w-tane-001>

## 「和綿の種ひろがるプロジェクト」を 立ち上げたきっかけ

メイド・イン・アース誕生の1995年から5年後の2000年に、千葉県にある鴨川和綿農園の田畑健氏との運命的な出会いから「和綿(和棉)」の存在を知りました。  
現在日本では、衣類などに使用される綿素材の原料をすべて海外に頼っていますが、明治以前は、綿畑の風景が日本でも各地で見られていました。

しかし産業革命などを超え、海外の綿の細く長い繊維へのニーズの高まりや海外の安価な綿などに押され、和綿は衰退してゆきました。  
そんな歴史がある和綿ですが、太く短い繊維は、日本の気候風土にあった、さまざまなものを作ることができる魅力いっぱいの素材なのです。

そこで、日本の在来種の和綿の復活を夢見ていた、今は亡き田畑健氏の思いを受け継ぎ、日本各地で和綿栽培の風景がひろがってゆくことを目指して、和綿プロジェクト「和綿の種ひろがるプロジェクト」を立ち上げました。

生活の中で大切な衣食住の中の「衣」を、在来種の種で作ることを楽しみ、栽培し続けることで、種を守り、和綿の風合い、心地よさを、たくさんの方々に、感じていただきたいと願っています。

# 和綿の種ひろがるプロジェクト「HOME GROWN」の目的

**[1] 和綿の種を守り残してゆくために栽培を広めてゆく。和綿の種は日本の財産。**

継続した綿栽培をすることで、日本の在来種である和綿の「種」を守り次世代へ継承していく。

**[2] 私たちみんなが和綿を育てることで、コットンへの興味をふくらませる。**

和綿栽培から、綿が植物であること、それが衣類になることを実感し、花から綿へと成長を楽しんでもらう。

**[3] 和綿を使い、綿繰りや糸紡ぎ、織りをする中で、繊維やものづくりへの興味やものづくりの大切さを感じてゆく。**

綿から糸や生地など形にしてゆくことで、繊維への興味を高め、ものづくりの大切さを体験してもらう。

**[4] 和綿を通して、SDGs、エシカル消費、環境について考えるきっかけをつくる。**

日本の在来種である和綿は、四季があり梅雨など雨の多い日本の環境に適しています。

農薬や化学肥料を使わない栽培、多湿な日本にあったものづくりなどを考えながら、様々な学びを深めてゆく。

**[5] 自給自足の喜びを感じてゆく。**

衣食住の中で、トップに表現される「衣」。自給自足ができるイメージを持っている人は少ないけれど、

野菜の栽培などと同じように、自給自足が可能なものであることに気づき楽しんでゆく。

**[6] 日本の農業に綿作を復活させ、有機圃場を増やしてゆく。**

一般家庭や学校だけでなく、休耕地、耕作放棄地などを利用して和綿栽培することで、かつて栄えた日本の綿作を復活させるとともに、有機の畑を増やしてゆく。

和綿の種  
HOME GROWN  
ひろがるプロジェクト

# 和綿を育てる 収穫する 学ぶ ものづくりをする

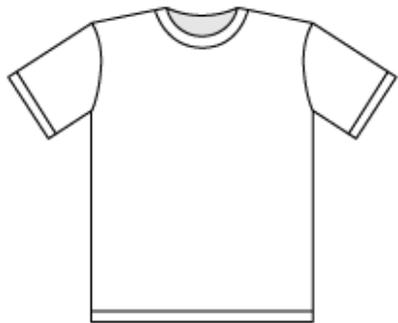
衣食住の原点にふれ、ものづくりまで一貫した体験をすることで、SDGs、エシカル消費などを具体的にイメージできるので、サステナブルな社会への学びの場にもなります。

- 和綿の栽培  
(種撒き、草取り、土寄せ、摘芯、収穫、乾燥、綿繰り)
- ものづくり  
(手紡ぎ、手織り、機械紡績、機械織り、縫製など)
- 学び  
(和綿・コットンについて、エシカル消費・SDGsとコットン等のオフライン、オンライン講義など)



# 和綿プロジェクトの流れ

- 和綿栽培（春の種まきから、秋の収穫まで）
  - ・プランターや鉢、庭、畑などで、和綿（在来種のワタ）を栽培。
  - ・4月下旬～5月中旬に種まき、7～8月の開花、秋のコットンボールの収穫。
- 栽培状況の参加者の皆さんでの共有
  - ・プロジェクト参加者の栽培記録、写真などを、和綿プロジェクトのSNSやメイド・イン・アースのホームページの  
和綿プロジェクトページへ掲載。
- コットンお話し会&ワークショップ（リアル&オンライン講座・有料・自由参加）
  - ・コットンの現状やオーガニックコットンの話、糸紡ぎ・綿繰りなどのワークショップなどの講座を開催。
  - ・コットンを通してエシカル消費やSDGs、サステナブルを学ぶ。
- 和綿で製品作り
  - ・プロジェクト参加者が栽培した和綿を使って、Tシャツやハンカチなどの製品を作ります。
  - ・Tシャツ用の糸は、織り機にかかるよう和綿&オーガニックコットンの混紡糸で製作します。
  - ・Tシャツは1枚あたり200g。（目安：コットンボール1個は約0.5～1g=種付きで1.5～3g程度）  
例えば、1株10個のコットンボールが収穫できたとして、 $0.5 \times 10 \text{個} = 5\text{g}$ の繊維となるので、40本の株が必要。



# みんなで栽培したコットンで Tシャツやハンカチ等を作ろう！



家庭、学校、地域など様々な場所で栽培された和綿を集めて、和綿×オーガニックコットン糸をつくり、Tシャツやハンカチなどを製作。



プロジェクトに参加した方々みなさんで、和綿を日常で身に着けて楽しむ。





## 和綿(和棉)について

和綿(綿)は、799年(延暦18年)に、三河(現在の愛知県西尾市)の地に漂着した崑崙人(インド人)と名乗る青年によって、初めて日本にもたらされました。ただ、その時のタネは日本の地に定着することがなく、その後(1500年代初頭)、再び大陸から渡ってきたタネが各地に広がり、各地の気候風土にあった在来種となりました。

当時は、身分の高い人は絹をまとっていましたが、一般庶民は麻や葛、楮(こうぞ)等の樹皮を繊維として使っていました。それらで作った衣服では冬の寒さを凌ぐには不十分だったため、綿はとても重宝がられ以降、衣服のための主要な繊維となっていきました。

その後、近代的機械化(紡績機などの導入)により、綿の栽培は明治の中頃に全盛期を迎えましたが、大規模工場・機械化により国産綿では供給が追いつかなくなり、徐々に外国からの輸入綿への依存が大きくなってきました。そして、明治29年に輸入綿花にかけられていた輸入関税が撤廃されたことで、完全な衰退へと向かいました。



## 和綿の種ひろがるプロジェクト HOME GROWN

【詳細・申込】

[www.made-in-earth.co.jp/special/29178/](http://www.made-in-earth.co.jp/special/29178/)

【HOME GROWN フェイスブックグループ】

[www.facebook.com/groups/wamenproject/](http://www.facebook.com/groups/wamenproject/)



【企画・運営】

メイド・イン・アース／(株)チーム・オースリー

[www.made-in-earth.co.jp/](http://www.made-in-earth.co.jp/)